

# 夜間学校 ニュース

1988年 10月 14日  
西成区萩之茶屋2-8-9  
旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の  
指紋押なつ拒否断固支持！  
定住外国人に市民権を！

## 国民の行事は行うべき

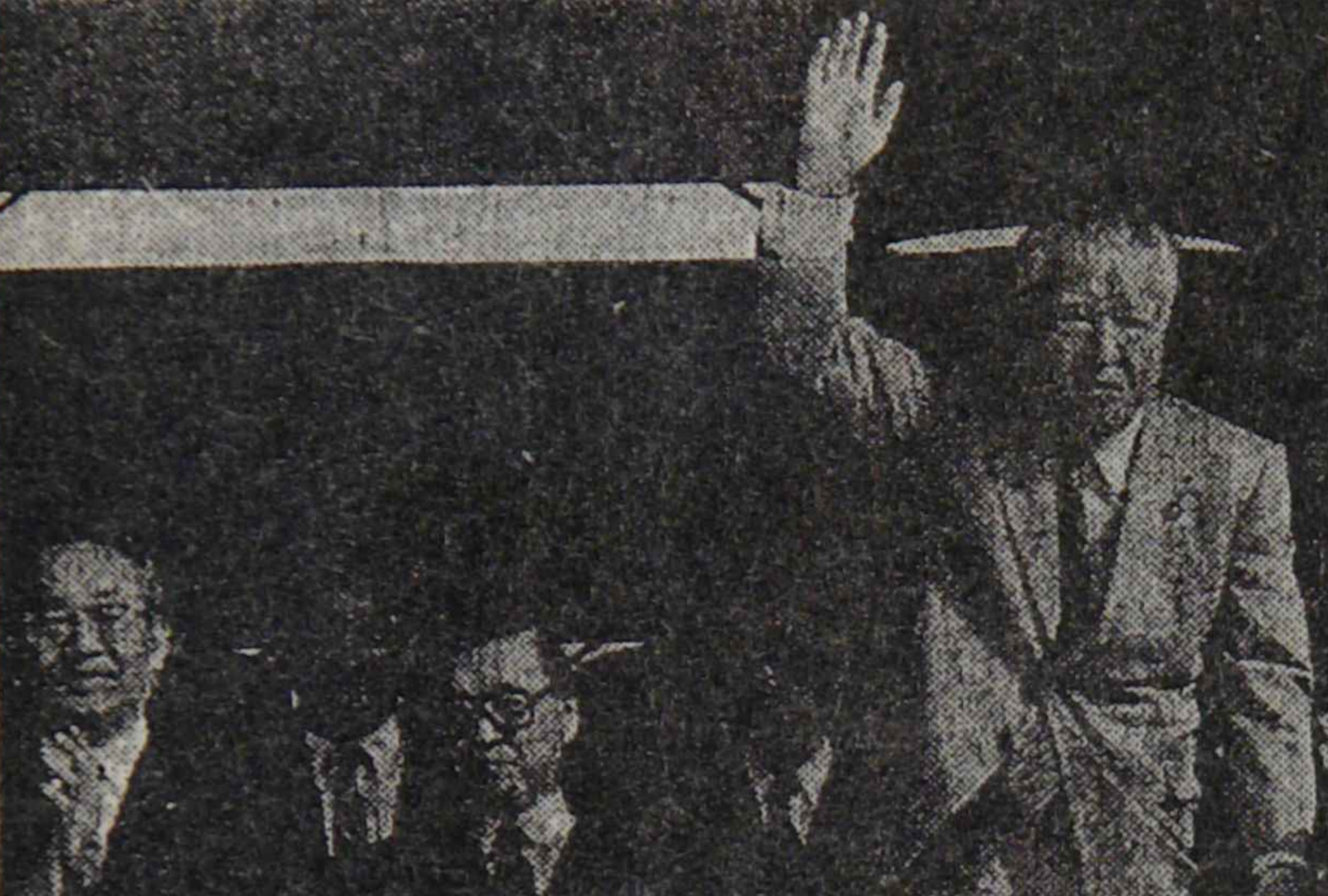
安倍幹事長は、八日、静岡県函南町で開かれた同党全国研修会での講演の冒頭で、天皇陛下のご病気に伴う行事などの自粛ムードの拡大に対し、「粛々として国民は行事等は行っていくべきだと思つ」と述べ、行き過ぎた自粛を避けるよう重ねて呼びかけた。

安倍氏は、皇太子殿下が同日午前、藤森昭一宮内庁長官に「自粛ムードで国民生活に影響が出たり、楽しみを奪うことは陛下のお心に合わない」といふ趣旨のお考えを述べられたことを紹介したうえで、「最近では、小中学校の運動会やお祭りも自粛される傾向も出てきているが、陛下のお心に沿うものではない。」「回復を祈ると共に、国民生活に支障ないよう」と語った。

また竹下首相は、台風による風雨で結局使えなかったとはいえ、ヘリコプターを待機

▲ 1988年10月9日 読売新聞

1988年10月10日 毎日新聞



赤旗まつりで手をあげ参加者にこたえる宮本議長＝9日午後1時半

「ロケットであれ、ミサイルであれ、ヒロノミヤであれ、天皇なんてもういらん」

## みんな困ってるぞ

「保守勢力、憲法改悪狙う」  
共産党議長  
共産党の宮本議長は九日、東京江東区で開かれている第二十九回赤旗まつりの記念式典であいさつし、天皇陛下のご病気に伴い全国で見舞いの記帳所が設けられたり、行事の自粛ムードが広まっていることについて「主権が国民にあることを宣言している。また、国会で審議されている税制改革については「公約に反して消費税を強行しようとする自民党の策動が続いている。自民党政府が断念しない以上、直ちに総選挙に問う」と語り、衆院解散・総選挙を求める運動を展開していく方針を明らかにした。

「ロケットであれ、ミサイルであれ、ヒロノミヤであれ、天皇なんてもういらん」  
ラオケなことは自粛された。イーは夕食懇親会に切り替えられ、恒例の乾杯や音楽、カ

「金持ちだけが、自分たちを権威づけるために天皇を持ち上げる。自民党の安倍幹事長は、国民に自粛はよくないとい

釜ヶ崎夜間学校  
毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

みんなで つくろう  
みんなの 会館  
三人よれば 何とかの 知恵

夏目漱石が日記に「天子重恩の号外を手にする」と書いたのは、一九一二年(明治四十五年)七月二十日、

土曜日のことである。その日明治天皇が原毒症と発表された。両国の川開きの行事を中止する動きがすぐに出たらしく、「天子未だ崩せず川開を禁ずるの必要なし」とつづけていた。ほかに「演劇其他の興行もの停止とか停止せぬとかにて騒ぐ有様也」との記述がある。▼天皇陛下の病気を心配し、ご回復を祈る。それにはさまざまな形があるだろう。ひとりのしるかに敬慕の念をもつて祈る人もいよう。

天皇陛下ご病氣

「閣僚外遊」「外国要人訪日」の中止

苦しい外交空白

「貢献」の絶好機を逸する

天皇陛下のご病状からんで宇野外相ら政府首脳の外遊中止、デミタ・イタリヤ首相ら外国要人の来日延期が続出し、日本外交が「空白の時」を迎えている。米ソ対話の促進、ソウル五輪後の朝鮮半島など緊張緩和に動く国際情勢の中で日本外交が果たす役割

も大きく期待されている時だけに、「余儀ない事情」(外務省首脳)とはいえ、切齒扼腕(やくわん)の思いを募らせているようだ。宇野外相は「国内活動で補うしかない」と精力的に各国駐日大使らとの会談を重ねているが、首脳同士の会談に代わり得るもの

ではなく、速いテンポで動く国際情勢を前に、わが国外交にとって苦しい局面といえそう。外交日程が延期あるいは中止となったのは宇野外相の国連総会出席、イラン、イラク訪問、宮沢蔵相の西ベルリン訪問、石原運輸相の訪中な

ど。一方、要人来日を取りやめとなったのはデミタ・イタリヤ首相、ホーヒー・アイルランド首相、ゲンシャール西独外相、魏其琛中国外相、ドラミユラ・スイス副大統領らで、十一月の盧泰愚(ノ・テウ)韓国大統領も延期の方向で検討されている。

デミタ首相、盧大統領は公賓、国賓としての来日で、歓迎の官中行事を伴うため、現在天皇陛下のご容体では十分な受け入れ態勢が組めず延期も当然との結論だ。しかしこの自粛ムードが外務省の招待要人にまで波及し、日本外交がほとんどストップ状態に陥った。

宇野外相はこのため先月末から外務省でマンズフィールド米大使(先月二十七日)、ソロビヨフ・ソ連大使(同二十八日)、リファイー・イラク大使、アデリ・イラン大使(三日)、李源京・韓国大使(四日)らと精力的に会談を行った。マンズフィールド大使には全米米業者協会(RMA)が提訴したコメ市場開放要求の却下を要請、イ・イ両国大使には停戦交渉の促進を迫った。

しかし、同外相が直接現地に乗り込んで行う外交交渉に比べ、迫力不足は否めない。同省内の幹部会でも「日本外交が本来果たし得る役割などが多く、稼ぎ時で、借金などの返済も稼ぎによっては十分できるはず」という。大阪府内の露天商約二千人でつくる大阪神農商業協同組合(オモテアから)の代表者が、天皇陛下の病状をめぐって、恒例の乾杯や着席を自粛してこい。今の日本が民主社会ではなくて、まるで貴族社会のようではないか。平民は天皇と縁がなから自粛しなくてもよく、金持ち、貴族、一部のインテリは、天皇の臣下であるから自粛する。金持ちの道楽なら放っておくが、多額の税金が使われ、我々の生活にも影響するとなると、ほうっておくわけにはいかない。もつ天皇なんかいらない。

多額借金の露天商夫婦 祭り自粛で? 心中

横浜

横浜市泉区上飯田町一九七四、サンクレスト85A二〇二号、露天商、和田松太郎さん(四七)と妻寿子さん(三九)が借金苦などで心中していたことが九日わかった。天皇陛下のご容体を気遣う、列島総自粛シンドローームの中で、秋祭りイベントの中止が相次いでいるが、そのお前をまともに受けているのが、零細な露天商たち。「心中」のニュースに関西の同業者たちは「明日はわが身」と、生活破壊の恐怖に顔をくもらせた。

関係者の話では、和田さんと、先月二十九日午後六時ごろ、露天商手伝いの少年(七)が和田さん宅を訪ね、和田さん夫婦が並んで自宅六畳の部屋で、天井のほりにナイロンロープをかけて首をつって死んでいるのを見つけた。

遺書はなかったが、同署の調べでは、和田さんは友人から多額の借金をしており、返済に悩んでいたため、これを苦に自殺したとみている。関係者の話では、和田さんがたこ焼き店などの出店を計画していた先月二十四、二十五日の「桑野たばこ祭り」と今月一、二日の「伊勢原観光道灌まつり」のイベントが天皇陛下のご容体を配慮、中止に。和田さんは「たばこ祭り」には四店を出す計画で、先月二十二日に約六十万円の材料の仕入れを済ませ、二日間で百五十万八十万円の売り上げを見込んでいたという。神奈川県街協同組合の話では、「露天商にとっては秋祭りなど

「正月にちゃんと商売できるかどうか」という声が出始めています。自粛ムードが長く引くと悲劇が起きかねない」と話す。

「自粛しなくてもよく、金持ち、貴族、一部のインテリは、天皇の臣下であるから自粛する。金持ちの道楽なら放っておくが、多額の税金が使われ、我々の生活にも影響するとなると、ほう

ておくわけにはいかない。もつ天皇なんかいらない。

「閣僚外遊」「外国要人訪日」の中止

天皇陛下のご病状からんで宇野外相ら政府首脳の外遊中止、デミタ・イタリヤ首相ら外国要人の来日延期が続出し、日本外交が「空白の時」を迎えている。米ソ対話の促進、ソウル五輪後の朝鮮半島など緊張緩和に動く国際情勢の中で日本外交が果たす役割

も大きく期待されている時だけに、「余儀ない事情」(外務省首脳)とはいえ、切齒扼腕(やくわん)の思いを募らせているようだ。宇野外相は「国内活動で補うしかない」と精力的に各国駐日大使らとの会談を重ねているが、首脳同士の会談に代わり得るもの

ではなく、速いテンポで動く国際情勢を前に、わが国外交にとって苦しい局面といえそう。外交日程が延期あるいは中止となったのは宇野外相の国連総会出席、イラン、イラク訪問、宮沢蔵相の西ベルリン訪問、石原運輸相の訪中な

ど。一方、要人来日を取りやめとなったのはデミタ・イタリヤ首相、ホーヒー・アイルランド首相、ゲンシャール西独外相、魏其琛中国外相、ドラミユラ・スイス副大統領らで、十一月の盧泰愚(ノ・テウ)韓国大統領も延期の方向で検討されている。

デミタ首相、盧大統領は公賓、国賓としての来日で、歓迎の官中行事を伴うため、現在天皇陛下のご容体では十分な受け入れ態勢が組めず延期も当然との結論だ。しかしこの自粛ムードが外務省の招待要人にまで波及し、日本外交がほとんどストップ状態に陥った。

宇野外相はこのため先月末から外務省でマンズフィールド米大使(先月二十七日)、ソロビヨフ・ソ連大使(同二十八日)、リファイー・イラク大使、アデリ・イラン大使(三日)、李源京・韓国大使(四日)らと精力的に会談を行った。マンズフィールド大使には全米米業者協会(RMA)が提訴したコメ市場開放要求の却下を要請、イ・イ両国大使には停戦交渉の促進を迫った。

夏目漱石が日記に「天子重恩の号外を手にする」と書いたのは、一九一二年(明治四十五年)七月二十日、土曜日のことである。その日明治天皇が原毒症と発表された。両国の川開きの行事を中止する動きがすぐに出たらしく、「天子未だ崩せず川開を禁ずるの必要なし」とつづけていた。ほかに「演劇其他の興行もの停止とか停止せぬとかにて騒ぐ有様也」との記述がある。▼天皇陛下の病気を心配し、ご回復を祈る。それにはさまざまな形があるだろう。ひとりのしるかに敬慕の念をもつて祈る人もいよう。記帳によってそれを表現する人もいる。それぞれの個人が自然な形であらわすのがいちばんよいのではないかと通達や、集団の無言の圧力で、自粛がゆきすぎるのは考えものだ。激石の筆は鋭く、「当高の権を恐れ、野次馬の高声を恐れて、当然の営業を休むとせば表向は如何にも皇室に対して礼篤く情深きに似たれども其実は皇室を恨んで不平を内に蓄るるに異ならず」。その目は「細民」の、つまり貧しい人々の暮らしに向けられていた。これは明治天皇崩御の十日前、主権在民のいまとはちがう時代の話である。公表する文書でなく、日記ではあるが、うろたえない見識がみとれる。「病氣は」「万臣の同情に値す」「心よりの遠慮の意あらば」「営業をやめ

「閣僚外遊」「外国要人訪日」の中止

天皇陛下のご病状からんで宇野外相ら政府首脳の外遊中止、デミタ・イタリヤ首相ら外国要人の来日延期が続出し、日本外交が「空白の時」を迎えている。米ソ対話の促進、ソウル五輪後の朝鮮半島など緊張緩和に動く国際情勢の中で日本外交が果たす役割

も大きく期待されている時だけに、「余儀ない事情」(外務省首脳)とはいえ、切齒扼腕(やくわん)の思いを募らせているようだ。宇野外相は「国内活動で補うしかない」と精力的に各国駐日大使らとの会談を重ねているが、首脳同士の会談に代わり得るもの

ではなく、速いテンポで動く国際情勢を前に、わが国外交にとって苦しい局面といえそう。外交日程が延期あるいは中止となったのは宇野外相の国連総会出席、イラン、イラク訪問、宮沢蔵相の西ベルリン訪問、石原運輸相の訪中な

ど。一方、要人来日を取りやめとなったのはデミタ・イタリヤ首相、ホーヒー・アイルランド首相、ゲンシャール西独外相、魏其琛中国外相、ドラミユラ・スイス副大統領らで、十一月の盧泰愚(ノ・テウ)韓国大統領も延期の方向で検討されている。

デミタ首相、盧大統領は公賓、国賓としての来日で、歓迎の官中行事を伴うため、現在天皇陛下のご容体では十分な受け入れ態勢が組めず延期も当然との結論だ。しかしこの自粛ムードが外務省の招待要人にまで波及し、日本外交がほとんどストップ状態に陥った。

宇野外相はこのため先月末から外務省でマンズフィールド米大使(先月二十七日)、ソロビヨフ・ソ連大使(同二十八日)、リファイー・イラク大使、アデリ・イラン大使(三日)、李源京・韓国大使(四日)らと精力的に会談を行った。マンズフィールド大使には全米米業者協会(RMA)が提訴したコメ市場開放要求の却下を要請、イ・イ両国大使には停戦交渉の促進を迫った。

宇野外相はこのため先月末から外務省でマンズフィールド米大使(先月二十七日)、ソロビヨフ・ソ連大使(同二十八日)、リファイー・イラク大使、アデリ・イラン大使(三日)、李源京・韓国大使(四日)らと精力的に会談を行った。マンズフィールド大使には全米米業者協会(RMA)が提訴したコメ市場開放要求の却下を要請、イ・イ両国大使には停戦交渉の促進を迫った。